

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター

第36号 2013年2月



編集・発行/財団法人群馬県健康づくり財団

～トピックス～



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2013 ぐんま 開催決定！！

公益財団法人日本対がん協会とリレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま実行委員会の主催で「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2013 ぐんま」が、平成25年10月12日(土)～13日(日)に群馬総合スポーツセンター（ふれあいランド・サブアリーナ）において開催することが決定しました。

～第1回実行委員会の開催からの経過をお知らせします～

○第1回 実行委員会（平成25年2月1日） 急な開催にも関わらず、実行委員15名の方に参加いただきました

平成24年11月17日に行われたがん患者ミーティングでの、リレー・フォー・ライフ信州 in 長野の、視察参加の報告を受けて、是非 群馬県で初めてのリレー・フォー・ライフを実現させようと、実行委員を募ったところたくさんの方に手をあげていただき、第1回の実行委員会を平成25年2月1日に開催しました。日本対がん協会の方から、リレー・フォー・ライフの目的や実行委員の役割、開催にむけての準備についてお話を伺った後に、実行委員の皆さんのリレー・フォー・ライフに対する熱い思いを語り合いました。そして、記念すべき群馬県で初のリレー・フォー・ライフの実行委員長は、がん連協の本田攝子 会長に決定しました。また、群馬県健康づくり財団（企画広報課）が事務局を担当し、全面的にバックアップすることになりました。最後に、群馬県らしいものにしていきましょうと心をひとつにし、第1回の実行委員会を終了しました。



初めての会議で、公益財団法人日本対がん協会のリレー・フォー・ライフチーフディレクター田淵さんの少し堅いお話のため、皆さん少し緊張気味？でした…。皆さんの熱い思いで会場が熱くなりました。

○第2回 実行委員会（平成25年3月1日）

第2回の実行委員会では、開催の規模や、実行委員会の組織編成等について、少し具体的な内容について検討しました。そして、参加チーム40・参加人数(延べ)2,000～2,500人・募金目標額200～250万円という大きな目標に向かって、活動していく事になりました。

実行委員の組織編成の中で、イベントの骨組みを企画する企画推進委員会を設置し、より具体的な検討をすることになり、企画推進委員会で決定したことを受け実行委員が活動を始めることになりました。

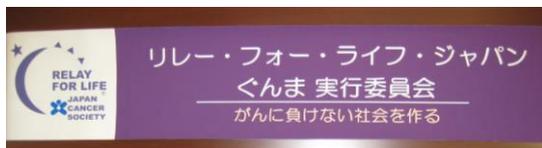
企画推進委員には、がん連協役員・企画委員9名と立候補により7名、財団職員3名の計19名に決定しました。

裏面につづく・・・

○企画推進会議（第1回）平成25年3月19日

第2回実行委員会の決定を受け、企画推進委員の活動がはじまりました。まずは、狩野先生のご協力により実行委員の名札づくりと具体的な仕事が始まりました。また、企画推進委員会の中での係の設置と役割分担・開催までの計画について検討されました。今後は自分の得意分野を生かした係に分かれて活動していきます。係は、① チーム勧誘&協賛 ② サバイバー勧誘 ③ ルミナリエ ④ 会場設営&セレモニー⑤ 啓発の5つの係です。次回企画推進委員会では、各係からの進行状況報告を受けて、協議することになります。

次回企画推進会議は、4月24日の予定です。



狩野先生が造ってくださった、リレー・フォー・ライフぐんまの横断幕を持ちみんなそろっての記念撮影！をしました。写真がなくてすみません・・・

開催終了後、今よりもっといい笑顔になれるように、力を合わせてガンバリましょう。。。



リレー・フォー・ライフ って何？



リレー・フォー・ライフ（命のリレー）は、がん患者や家族、その支援者らが公園やグラウンドを会場に交代で24時間にわたって歩き、がん征圧への願いを新たに絆を深めあう寄付イベントです。寄付金は広く対がん活動に使われます。

1985年にアメリカ人外科医が、がん患者を励まし対がん運動組織に寄付する目的で、「がんは24時間、眠らない」「がん患者は24時間、がんと闘っている」をメッセージとしてフィールドを走ったことから始まりました。参加者がリレー方式で24時間歩きながら、寄付を募る形式で定着し、現在は全米では5,500か所、世界20カ国で開催されています。

日本国内では2006年9月、つくば市で第1歩を踏み出しました。現在は全国に広がり、実行委員会や地元ボランティアの協力のもと各地で大いに盛り上がっています。

- サバイバーを大切に社会へがんと闘いを呼びかける
- 寄付を得てがん征圧のため効果的に使う
- コミュニティを大切に考え独創的なアイデアでイベントを楽しむ ことが目的です。

実行委員・ボランティア 募集しています

平成25年10月12日(土)～13日(日)の開催にむけてご協力いただける実行委員の方・ボランティアの方を募集しています。当日のみのボランティアでも大歓迎です。興味のある方・ご協力いただける方は、下記にご連絡ください。

連絡先

財団法人 群馬県健康づくり財団 総務部企画広報課
☎027-269-7811 FAX 027-269-8928
E-mail: kikaku@gunma-hf.jp

みなさんの力で楽しく、みんながつながるイベントにしませんか！

掲示板



本田会長から、委員を務めている、群馬県がん対策推進協議会・群馬県県立病院改革検討委員会の報告書をいただきましたので、掲載致します。

○ 第5回群馬県がん対策推進協議会 平成24年11月19日(月) 19:00~20:30

協議事項：次期「群馬県がん対策推進計画」素案について
連絡事項：次期「群馬県がん対策推進計画」策定スケジュールなどについて

今年6月、国で「がん対策推進基本計画」の見直しが行われました。群馬県でも次期「群馬県がん対策推進計画」にむけて、委員による各部会での検討を重ね、素案が作成され、その素案について委員のみなさんと検討しました。

○ 平成24年度第1回群馬県立病院改革検討委員会 平成24年11月20日(火) 18:00~

議事内容：①平成24年度上半期の状況及び第2次病院改革プランの取り組み状況について
②その他

- ・ 県の一般会計から毎年約39億の繰入金がある中、それでも赤字の経営が続く県立病院の改革を検討しました。
- ・ 県立病院の役割、医療サービスの向上、センター機能の強化を進めながら、4つの各病院の取り組み状況を聞きました
- ・ 県立がんセンター緩和ケア病棟整備事業についての報告。ベット数25床と疼痛センターを整備した2階建て病棟で、平成26年3月完成予定とのことです。

○ 第6回群馬県がん対策推進委員会 平成25年1月30日(水) 19:00~20:00

協議事項：次期「群馬県がん対策推進計画」について
①県民意見の提案状況及びその対応について
②修正案について
報告事項：①群馬県がん対策推進協議会今後の開催予定について
②平成24年度群馬県ピアサポーター養成研修について
その他：①「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま」の開催について

●県民意見…平成24年12月10日から平成25年1月8日まで、群馬県がん対策推進計画（素案）に対する県民の意見を受け、その概要と意見に対する県の考え方、意見の採択により改正する箇所の有無の報告ががん対策室長からありました。期間中、6名、18件の意見がありました。小児がん患者及び小児がん経験者の実態把握を計画を明記することになりました

●群馬県がん対策推進協議会今後の予定・平成25年2月議会…計画案の上・3月計画決定、公表・4月 計画書印刷製本・5月第7回協議会開催・10月第8回協議会開催

●ピアサポーター…平成24年度群馬県がんピアサポーター養成講座研修会についての説明がありました。平成25年2月28日、3月6日、3月14日に県庁会議室で研修が行なわれます。30人募集のところ60人と多くの申し込みがあり調整して今年度は42名受講できることになりました。終了後は、がん診療連携拠点病院で開催されている「がんサロン」などでの活動が期待されます

●リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま…群馬健康づくり財団の山口総務部副部長さんから説明と群馬での開催と協力をがん対策推進協議会委員さんへお願いし、了解を頂きました。

報告 本田攝子

※本田会長、お忙しいところありがとうございました。

……編集後記……

急に暖くなった今日この頃ですが、私は、花粉症と残業続きで少しお疲れモードです。でもそんな時、リレー・フォー・ライフの実行委員のみなさんの熱心さとパワーにいつも元気をもらっています。

〔事務局〕
〒371-0005
群馬県前橋市堀之下町1-6-1 群馬県健康づくり財団 総務部内
電話 027-269-7820

編集担当：岩崎清美

